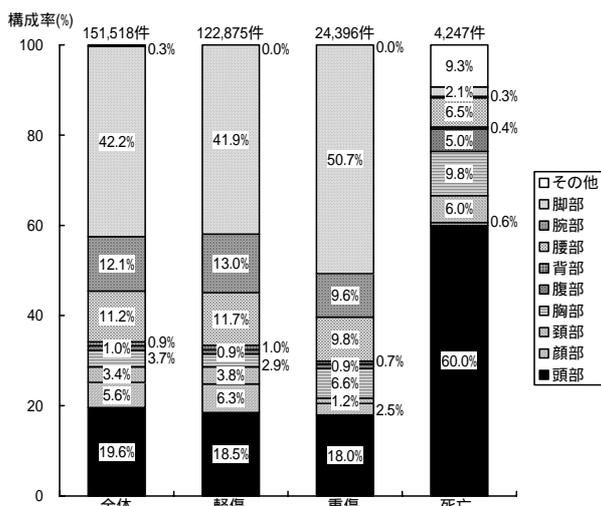


歩行者頭部保護性能試験について

歩行者の交通事故による死者数は、交通事故全体の約30%を占めている。

傷害形態別に見ると、歩行者の死亡事故については、頭部の傷害に起因するものが60%を占めており、歩行者の死亡事故の対策には頭部傷害の対策が不可欠である。

このため、子供と大人の頭部を模擬したダミー（頭部インパクト）を試験機から車両のボンネット等に向け発射させ、頭部インパクトが受ける衝撃を傷害値（HIC）から評価する。



- 注1:平成10～12年のデータ
- 注2:歩行者および相手車両が1当あるいは2当の場合
- 注3:相手車両は乗用車でセダン、1BOX、SUVに分類される車種
- 注4:死亡は24時間以内

歩行者の傷害部位

((財)交通事故総合分析センター：交通事故例調査・分析報告書 平成13年度報告書)

